○備前地方植物方言一斑

岡山縣　正宗嚴敬

凡ソ地異ニ處變ズレバ從テ其言葉ノ同ジカラザルアルハ自然ノ趨勢ナリ余幼ヨリ植物學ニ志シ聊カ我郷土附近ニ行ハル丶植物ノ方言ヲ蒐集シ多少得ル所アリ依テ茲ニ其方言ト今日廣ク植物學界ニ用ヰラレツ丶アル和名トヲ對照シ之ヲ左ニ記シ以テ斯學上ノ參考ニ供セントス、●ノ上ニ在ル者ハ通稱ニシテ其下ニ在ル者ハ方言ナリ

あまも●おごめ　蓋シ海ノ米ト言フ意ナラン果穗ハ米ヲ着ケタル觀ヲ呈ス
あせび●こごめばな　花形ヨリノ名
いたどり●さいじ又さいしんご　小兒採リ食フ
いしもちさう●はいとりぐさ
いはれんげ●かはらぐさ　瓦草ノ意、屋根ニ生ズルニヨル
うらじろ●やまくさ
えびづる●かぶ　小兒採リ食フ
かたばみ●ちぼくさ
からたち●じゃけつ
ががいも●からわた　唐綿ノ意ナリ
きづた●ごまのき　兒童此實ヲ採リ獨樂ノ如ク廻スニヨリ言フ
けんぽなし●てっぽうなし

こしだ●たでくさ　舟ヲタデル(燻べ焼クコト)ニ用ウルヨリ來ル
じゃのひげ●くすだま又すくだま
すもも●すんめ　酸梅ナリ
せんなりほほづき●たんぼほほづき　畑ノほほづきノ意ヨリ來リタル名
つゆくさ●ぎいすぐさ　此草ヲきりぎりすニ食ハシムルヨリ此名出デタルナリぎいすトハきりぎりすの方言ナリ
つた●めっつり　此葉柄ヲ以テ目ヲ上下ニ張ラシメテ小兒ノ遊ブヨリ來ル名
つりがねにんじん●すずばな　花ノ形ニヨリテ言フ
てんもんどう●ほたるぐさ　螢ノ籠ノ中ヘ入ルル故云
とりかぶと●かぶとぎく

ねずみさし●もろまつ
はこべ●ひよこぐさ　雛ニ食ハスヨリ名ク
ひがんばな●きつねばな
へくそかづら●したまがり
ほくろ●ぢいばあ
ほとけのざ●くるまばな　葉ヲ兩端ニ着ケ置キテ上下ノ莖ヲ切リ去リ其兩葉間ニ於ケル莖ノ中央ニ横ニ松葉ヲ通シ葉ヲ吹テ廻ス故名ク
りゅうのうぎく●のぎく
りんだう●ほこばな　花冠ガ矛ノ如ク尖リタルヨリ言フ
をかとらのを●やまたばこ

○『本草綱目啓蒙』ニハ四種ノ版ガアル

牧野富太郎